



令和2年1月7日  
内閣府(防災担当)

## 国際復興フォーラム2020 「レジリエントなインフラでBuild Back Better (より良い復興) を目指す」 の開催について

「よりよい復興 (Build Back Better)」の実現を目指すため、2005年、我が国や関係国連機関等の連携により国際復興支援プラットフォーム (International Recovery Platform: IRP) が発足しました。

IRPでは、関係機関の協力の下、Build Back Betterの優良事例などの情報提供、復興への助言、技術支援等の活動を行っており、この「国際復興フォーラム」は、これらの活動の一環として、発足以来毎年開催しているものです。

今回のフォーラムでは、「レジリエントなインフラでBuild Back Better (より良い復興) を目指す」をテーマに、行政、民間セクター、国際機関それぞれの経験をもとに、強靱なインフラへの事前投資や復興過程でのインフラ構築について、議論を深め、国際社会へ発信します。

1 日時 令和2年1月28日(火) 10時00分～16時30分

2 場所 兵庫県神戸市(ホテルオークラ神戸1階「平安の間」(中央区波止場町2-1))

3 主催 内閣府、国際復興支援プラットフォーム(IRP)、兵庫県、  
アジア防災センター(ADRC)、国連防災機関(UNDRR)

4 参加者 各国政府、地方自治体、IRP構成機関の関係者 等

### 5 会議概要

・特別講演 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院教授

カマル・キショー インド政府国家防災委員会 理事

・パネディスカッション1:「レジリエントなインフラを通して、より良い復興のために事前に計画を立てる」

・パネディスカッション2:「レジリエントなインフラの復旧とより良い復興」

### 6 取材について

本フォーラムは公開で行います。取材を希望される場合は、事前にIRP事務局担当者(本件問合せ先参照)に電話又はメールで連絡をお願いします。

なお、当日の取材場所やカメラの位置などは会場担当の指示に従ってください。

<本件問合せ先>

●現地での取材及びフォーラム内容に関すること

IRP事務局

担当: 佐古井 TEL:078-262-6041 E-mail: [irpforum@recoveryplatform.org](mailto:irpforum@recoveryplatform.org)

●その他全般に関すること

内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(普及啓発・連携担当) 付主査付

担当: 向井所 TEL 03-3502-6983 FAX 03-3581-7510

2020  
JANUARY 28  
09:30-16:30

Hotel Okura Kobe  
ホテルオークラ神戸

〒650-8560  
神戸市中央区波止場町2-1



# International Recovery Forum 2020

国際復興フォーラム2020



## Building Back Better through Resilient Infrastructure

レジリエント(強靱)なインフラでBuild Back Better (より良い復興)を目指す



パネルディスカッション1:  
レジリエント(強靱)なインフラを通して、  
より良い復興のために事前に計画を立てる

パネルディスカッション2:  
レジリエント(強靱)なインフラの復旧とより良い復興



ORGANIZERS:

国際復興支援プラットフォーム (IRP), 内閣府, 兵庫県,  
アジア防災センター (ADRC), 国連防災機関 (UNDRR)



SUPPORTED BY:

外務省  
NHK神戸放送局

IRPウェブサイト

<https://www.recoveryplatform.org/>

### IRP Steering Committee Members



アジア開発銀行 アジア防災センター 日本政府(内閣府) 中央防災調整センター 兵庫県 国際労働機関 イタリア外務省 スイス開発協力庁 世界銀行 国連地域開発 国連開発計画 国連教育科学文化機関 国連環境計画 国連人間居住計画 国連防災機関 国連プロジェクト・サービス機関 世界保健機関



## BACKGROUND:

インフラは、保健・医療、教育、エネルギー、輸送、通信、水と公衆衛生、経済活動のためのシステムやサービスを支える存在として、日々の生活に欠かすことができません。しかし、甚大な影響をもたらす自然ハザードに起因する災害や人為的災害が頻発化・激甚化する昨今、インフラが、途絶や機能上または構造上の機能不全に陥る危機に頻繁にさらされるようになってきています。重要なインフラが災害時に深刻な打撃を受ければ、各家庭の生活やコミュニティの福利、主要なサービスの機能や経済にも大きな影響が生じるでしょう。

インフラの復旧は、災害復興の要であり、他のほぼすべてのセクターにおける復興への取組みを下支えするものです。他のどのセクターにおける復旧と比べても、インフラの復旧は、「Build Back Better(より良い復興)」によるレジリエンス(強靭性)とリスク軽減への投資の好機と言えるでしょう。何よりも重要なのは、インフラをレジリエント(強靭)なものとするために、計画、設計、構築することであり、既存のインフラが適切に維持され、改善されることです。

国際復興フォーラム2020では、行政、民間セクター、国際機関の洞察や経験をもとに、インフラの復旧に共通して見られる問題や新たな課題、またその解決策について議論します。フォーラムでは、著名なスピーカーによる基調講演と、2つのパネルディスカッションを行います。パネルディスカッション1では、インフラ復旧のための備えと、災害が発生する前の段階で、事前に、レジリエント(強靭)なインフラへの投資機会をいかに活用・確保するかについて議論します。パネルディスカッション2では、災害に耐えるレジリエント(強靭)なインフラの構築を目的とした過去そして現在の復興の取組みについて検討します。



## AGENDA:

9:30-10:00 登録

### 開会

開会挨拶:  
ジャレッド・メルカダンテ  
IRP運営委員会議長(世界銀行 防災専門官)

10:00 - 10:30

主催者挨拶:  
井戸 敏三  
兵庫県 知事\*  
村手 聡  
内閣府 大臣官房審議官(防災担当)\*

### 特別講演

室崎 益輝  
兵庫県立大学大学院 教授

10:30 - 11:30

カマル・キショー  
インド政府国家防災委員会 理事\*

### パネルディスカッション1: レジリエント(強靭)なインフラを通して、 より良い復興のために事前に計画を立てる

モデレーター・開会挨拶:  
ジュリー・ダナ  
世界銀行防災グローバル・ファシリティ 統括責任者

- パネリスト:
- カミール・クレン  
アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁(FEMA) 課長
  - 高石 将也  
内閣官房国土強靭化推進室 参事官\*
  - マリア・カタリーナ・カブラール  
フィリピン公共事業・高速道路省 次官\*
  - フレンダン・ムーン  
オーストラリアクイーンズランド再建局 CEO\*
  - 多田 欣也  
兵庫県技術企画課 課長

11:30 - 13:10

### パネルディスカッション2: レジリエント(強靭)なインフラの復旧とより良い復興

モデレーター・開会挨拶:  
アンジェリカ・プレニツ  
国連開発計画(UNDP) チームリーダー\*

パネリスト:

- ナージャ・アドリアーン  
モザンビーク復興庁 シニア・プログラム・コーディネーター\*
- 越智 健吾  
復興庁 参事官(インフラ構築班)\*
- アリ・セティアディ・モエルワント  
インドネシア公共事業・国民住宅省 総局長\*
- 「防災技術の海外展開に向けた官民連絡会(JIPAD)」\*
- ダウット・シャヒン  
トルコ首相府災害緊急事態対策庁(AFAD) グループリーダー

14:30-16:20

### 総括・閉会

16:20-16:30 総括・閉会:  
IRP運営委員会共同議長(内閣府)

\* 予定

使用言語  
日本語・英語(日英同時通訳有り)



忘れない  
伝える  
活かす  
備える  
阪神・淡路大震災25年

「国際復興フォーラム2020」申込情報/入力フォーム  
(申込用Eメールアドレス: [irpforum@recoveryplatform.org](mailto:irpforum@recoveryplatform.org))

オンラインフォームからの申し込みも可能です。  
<https://bit.ly/2rriXQt>



所属(組織名、学校名)	
役職	
フリガナ	
お名前	
Eメール	
国籍	

\* Eメールに上記申込情報を入力の上、「国際復興フォーラム2020参加希望」と題して申込用アドレス宛に送信下さい。また、IRPホームページからPDFのチラシをダウンロードして、申込情報を直接PDFファイルへ入力・保存の上、Eメール添付にて申し込むことも可能です。(IRP日本語ホームページ [www.recoveryplatform.org/jp/](http://www.recoveryplatform.org/jp/))

\* 個人情報は、当フォーラム以外には使用いたしません。